



Startup Guide

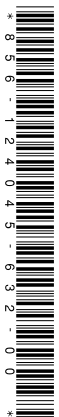
Empowered by Innovation

NEC

856-124045-632-00 2004年11月 初版

箱を開けてから本装置の初期設定を完了するまでの手順を説明します。

このスタートアップガイドに従って作業してください。



添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください。

- 本体
- 電源コード×1
- フロントパネル
- セキュリティキー (本体背面に貼り付けられています)
- ラック搭載用取り付け部品 (ユーザーズガイド*1参照)
- ユーザーズガイド*1(参考)
- ユーザーズガイド*2(参考)
- 電源中継ケーブル
- IDEケーブル
- ソフトウェアパッケージ一式 (バックアップCD-ROMを含む)
- EXPRESSBUILDERパッケージ*2
- SystemGlobe Diagnostics (ユーザーズガイド*1参照)
- フロントパネル取り付け扱い上のご注意 (DianaScopeのライセンス)
- お客様登録申込書
- 保証書 (本体梱包箱に貼り付けられています)
- 使用上のご注意
- ご使用時の注意事項
- ユーザーズガイド*1
- フロントパネル取り付け扱い上のご注意
- スタートアップガイド(本書)

添付のCD-ROMは、再セットアップの時に必要となりますので大切に保管しておいてください。

*1 ユーザーズガイドはバックアップCD-ROMの中に格納されています。ユーザーズガイドやその他のオンラインドキュメントはAdobe Acrobat Readerで閲覧できるPDFファイルです。

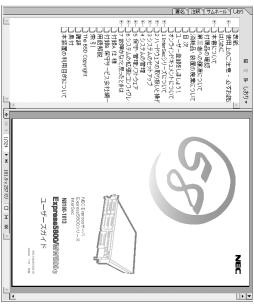
*2 EXPRESSBUILDERパッケージの内容についてはEXPRESSBUILDER内の添付品一覧を参照してください。

ユーザーズガイドを読む

ユーザーズガイドはバックアップCD-ROMの中に格納されています。ユーザーズガイドはAdobe Acrobat Readerで閲覧できるPDFファイルです。

<バックアップCD-ROM>:/nec/doc/mm500c_ug.pdf

ユーザーズガイドでは、本装置を安全に取り扱うための注意事項やStartup Guideでは記載されていないセットアップに関する詳細な説明、運用やアップグレードに関する説明が記載されています。また、「故障かな？」と思ったときのトラブル回避の手段やサービスに関する情報も記載されています。本装置を取り扱う前にぜひお読みください。



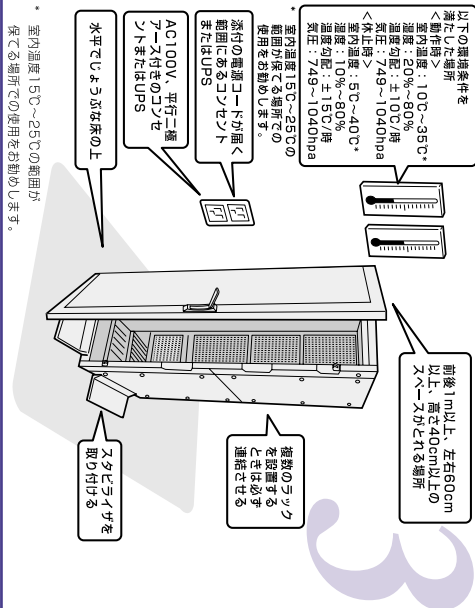
PDFファイルを閲覧するためには、Adobe Acrobat Reader 日本語版バージョン4.0以降が必要で、Adobe Acrobat Readerはアドビ社のWebサイトから無償でダウンロードすることができます (http://www.adobe.co.jp)。

製本されたユーザーズガイドが必要な場合は、もよりの販売店、またはお買い求めの販売店にお問い合わせください。また、ユーザーズガイドは、NECのWebサイトからダウンロードすることができます (http://nec8.com/ → [サポート情報] をクリックしてください)。

ラックを設置する

本体はEIA規格に適した19型 (インチ)ラックか、卓上に設置して使用します。ラックに設置する場合は、次の条件を守ってラックを設置してください。

重要 ラックの設置は必ず複数名で行ってください。



・ 室内温度15℃～25℃の範囲が保てる場所での使用をお勧めします。

安全に関するご注意

装置をセットアップする前に「ユーザーズガイド」の「安全にかかわる表示について」、「使用上のご注意」をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

本体を取り付ける

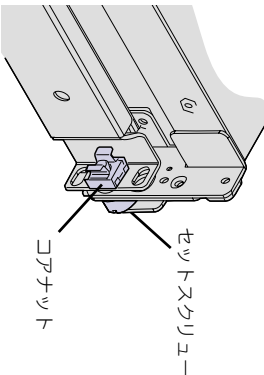
本体をラックに取り付けます。ユーザーズガイドの2章を参照してください。

重要 ラックの設置や本体の取り付けは必ず複数名で行ってください。

1 本装置の添付品から、M5ネジ(8本)とM5コナット(10個)を用意する。

8 X 8 X 10

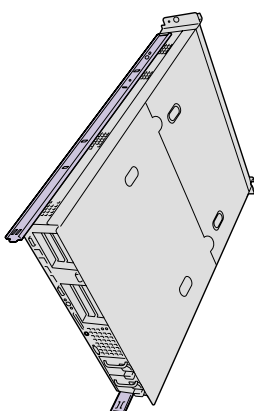
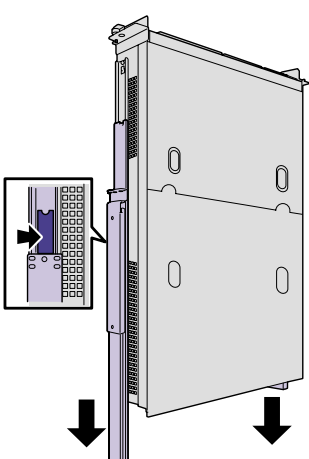
2 本体前面部の両側にあるセットスクリューを回して、裏側に取り付けられているコナットを取り外す。



本体の運転時にスライドルールが外れないようにセットスクリューとコナットで固定されています。ラックへの取り付け前に左右に付いているコナットを取り外してください(コナットを手でしっかりと持ちながらセットスクリューを回してください)。

3 本体左右に取り付けられているレベルセンブリを取り外す。

取り外しの途中でレベルがロックスされます。リリースレバーを押して、ロックを解除しながら装置後方へスライドさせてレベルを取り外してください。

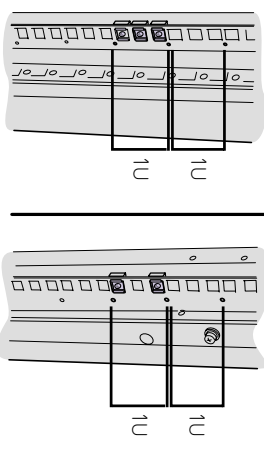


レベルセンブリを取り外すと、本体にはネジで固定されたインナーレベルのみが付いた状態となります。

レベルセンブリは、取り外したインナーレベルに再度取り付けます。どちら側のインナーレベルから取り外したものがわかるように印を付けるなどして区別してください。複数の本装置を設置する際もどの装置のどちら側のインナーレベルから取り外したものがわかるように区別してください。

レバーやレベルで指を挟まないよう十分注意してください。

4 ラックの前後のラックフランジにコナットを取り付ける。

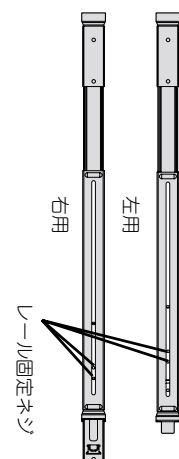


前面側

背面側

コナットは前面側に各3個、背面側に各2個を取り付けます。本体はラックの2U1/2Uの高さを使用します。レベルセンブリは2Uのうち、下側の1Uに固定します(ラックのフランジ強には1U単位に刻印などの印があります)。

5 レベルセンブリの形状を見て、右用と左用を確認する。

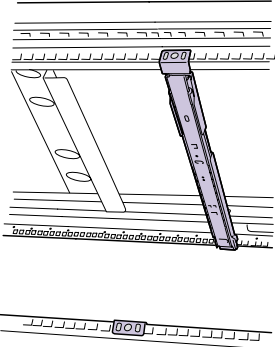


6 レベルセンブリのレベルを固定しているネジをゆるめる (手回しの図を参照)。

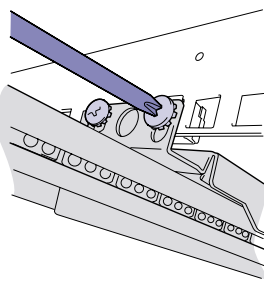
ラックの奥行きに合わせて長さを調節するためです。

7 コナットを取り付けた場所にレベルのフレームを合わせる。

コナットとレベルのフレームでラックのフレームを挟むように位置させ、レベルの長さを調節してください。

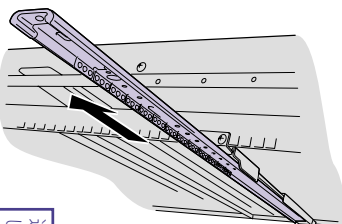


8 前面と背面をネジで固定する (各2本)。



9 レベル固定ネジを固定する。

10 左右のレベルセンブリのスライドルールをロックさせるまで引き出す。



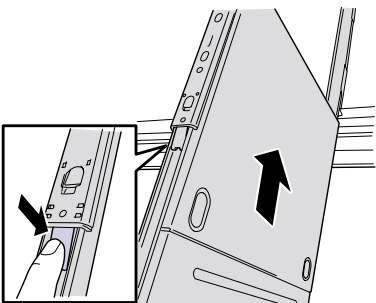
途中で「カチッ」と音がしてロックされます。

11 2人以上で本装置をしっかりと持ってラックへ取り付ける。

本装置側面のインナーレベルをラックに取り付けたレベルセンブリに確実に差し込んでからゆっくりと静かに押し込みます。

途中で本装置がロックされたら、側面にあるリリースレバー (左右にあります) を押しながらゆっくりと押し込みます。

初めての取り付けでは各機構部品がじんじんでいため押し込むときに強い摩擦を感じることがあります。強く押し込んでください。

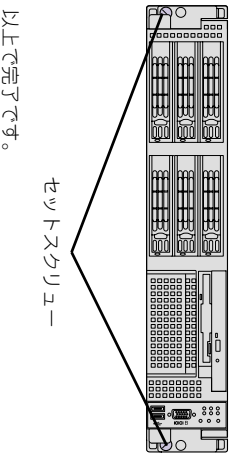


12 本装置を何度かラックから引き出したり、押し込んでリしてスライドルールの動作に問題がないことを確認する。

ラック内の他装置と隣接する位置に本装置を取り付ける際は、他装置と本装置の筐体が干渉していないことを確認してください。もし干渉している場合は、他装置と干渉しないよう調整してレベルセンブリを取り付け直してください。

スライドルール部分の動作を確認してください。スライドルールがラックのフレームに当たり、引き出せない場合は、スライドルールを取り付け直してください。

13 本体をラックへ完全に押し込み、前面の左右にあるセットスクリューでラックに固定する。



セットスクリュー

以上で完了です。

引き続きシステムのセットアップをします。裏面をご覧ください。



商標について

ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

© NEC Corporation 2004 NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

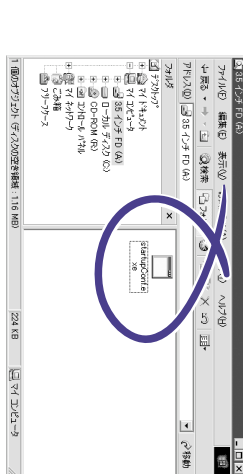
初期導入設定用デイスクを作成する

本装置を、Mail、Webサーバーとして運用するために最低限必要となる設定情報が保存されたデイスクを作成します。添付の「初期導入 設定用デイスク」とWindowsXP/2000、またはWindows NT 4.0、Windows Me/98/95が動作するコンピュータを用意してください。詳しくはユーザーガイドの3章「初期導入 設定用デイスクの作成」を参照してください。

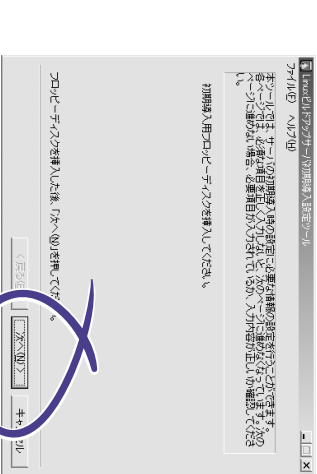
- 1 Windowsマシンを起動する。
- 2 フロッピーデイスクタドライブに添付の「初期導入 設定用デイスク」をセットする。
- 3 初期導入 設定用デイスクはライブロテクトされている状態にしてください。

エクスプローラなどからフロッピーデイスクトライプ内の「初期 導入 設定 ツール (startupConf.exe)」を起動する。

初期導入 設定ツールが起動します。ツールはウィザード形式で進みます。入力した内容が間違っている場合は先に進めません。警告メッセージに従って入力内容を確認・修正してください。



- 4 「次へ」をクリックする。



- 5 管理PCから本装置にログインする際の管理者 (admin) パスワードを設定する。

ここで入力したパスワードは、管理者 (admin) でログインする場合に必要となりま

- 1 初期状態では、本装置に添付の「tool/パスワード」に記載されたパスワードを入力する。
- 2 パスワードを設定する。
- 3 2で入力したパスワードを入力してパスワードの確認をする。
- 4 「次へ」をクリックして次に進む。

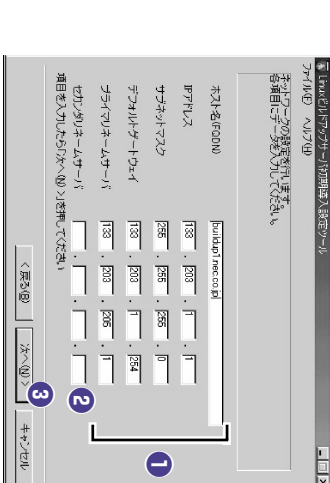


パスワードは画面に表示されない(※)で表示されるため、タイプライスのないよう

- 6 ネットワークの設定をする。

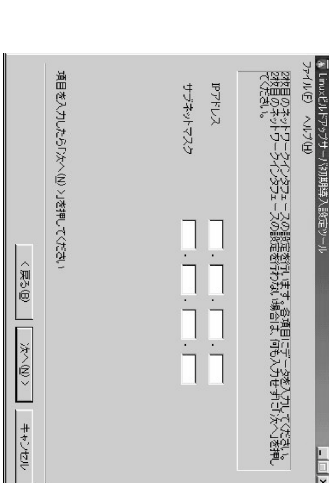
ここで設定する情報はLANポート1(システムからはeth0ポートとして扱われます)に対するものです。

- 1 タイプライズのしないように各値を入力する。
- 2 セカンダリネームサーバが存在する場合のみ入力する。
- 3 「次へ」をクリックして次に進む。

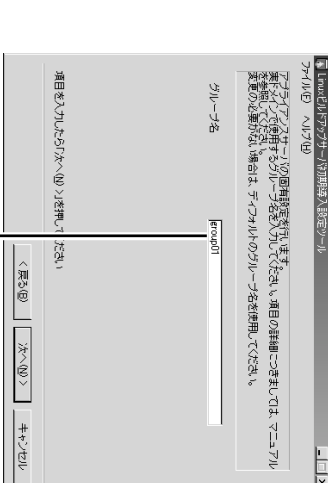


- 7 ネットワークの設定をして「次へ」をクリックする。

ここで設定する情報はLANポート2(システムからはeth1ポートとして扱われます)に対するものです。フェイルオーバークラスタ構成で運用する場合のみ設定します。



- 8 実ドメインのグループを設定し、「次へ」をクリックして次に進む。



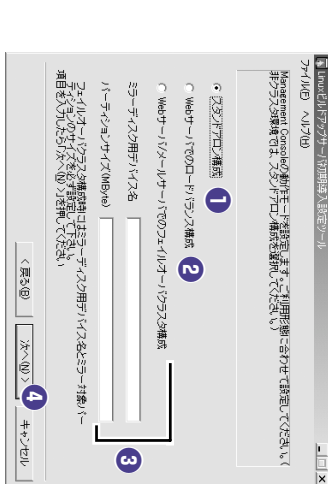
1文字目は英数字、2文字目以降は英数字とハイフンからなる最大15文字の全小文字

<指定できない文字列>

adm, admin, apache, bin, canna, daemon, dip, disk, floppy, fml, ftp, games, gopher, kmem, ldap, lock, lp, mail, mailnull, man, mem, named, news, nobody, nobody, nscd, ntp, pcap, root, rpc, rpcuser, rpm, slocate, smb, smbquest, smmsp, sshd, sys, tty, users, utmp, uucp, vcsa, waudit, wbmc, webalizer, webdef, wheel, wmn, xfs

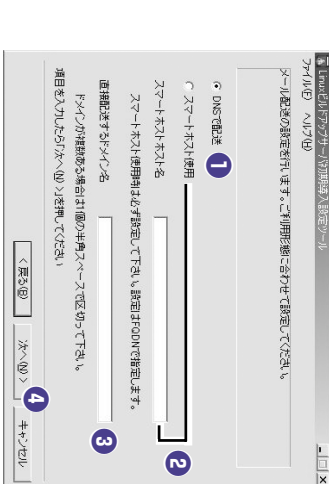
- 9 本装置の動作モードを指定する。

- 1 通常の状態で運用する場合。
- 2 ロードバランスクラスタ構成で運用する場合。
- 3 フェイルオーバークラスタ構成で運用する場合。
- 4 指定したら、「次へ」をクリックして次に進む。



- 10 メール配送の設定をする。

- 1 DNSで配送する場合。
- 2 スマートホストを使用する場合。
- 3 直接配送するドメイン名(任意)。
- 4 指定したら、「次へ」をクリックして次に進む。



<スマートホストとは？>

ファイアウォールが設置されたイントラネット内にメールサーバを設置する場合などは、すべてのメールを特定のメールサーバを介して配送する必要があります。そのサーバのことを「スマートホスト」と呼びます。スマートホストを使用する場合でも、ファイアウォールの内側で、イントラネット用のDNSが設置されており、DNSによる配送が可能な場合は、「直接配送するドメイン名」にイントラネットのドメイン名を入力することでファイアウォール内に関しては、スマートホストを介せずに配送することができます。

なお、ファイアウォールのDMZ(非武装地帯)上のメールサーバのように、特定のドメインに対する配送ホストをDNSを使用して静的に決定する必要がある場合は、セットアップ完了後、Management Consoleを使用し、メールサーバの設定の「静的配送の設定」により設定します。

すべての入力が終わったら、設定した内容が初期導入 設定用デイスクに書き込まれます。設定完了のメッセージが表示されるまでフロッピーデイスクタドライブから取り出さないでください。

初期導入 設定用デイスクは再セットアップの際にも使用します。セットアップの完了後も大切に保管してください。

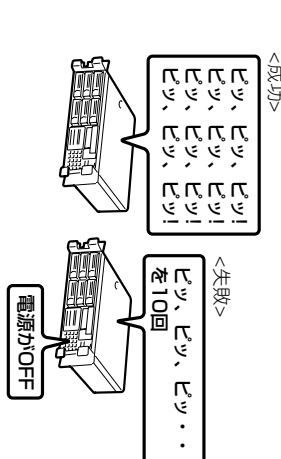
初期導入 設定情報をロードする

初期導入 設定用デイスクの内容を本体にロードして初期セットアップをします。詳しくはユーザーガイドの3章を参照してください。

- 1 本装置のLANポート1コネクタ(eth0)とLANポート2コネクタ(eth1)がネットワーク環境として使用するHUBにLANケーブルが接続されていることを確認する。
- 2 ステップ6で作成した初期導入 設定用デイスクがライブロテクトされていないことを確認して、本体のフロッピーデイスクタドライブにセットする。
- 3 本体の電源をONにする。

セットアップを開始します。2〜3分ほどで完了します。

セットアップに成功すると「ビッ、ビッ、ビッ」と3連発のピー音が4回鳴ります。失敗した場合は、1秒間隔のピー音が10回鳴ります(また電源が自動的にOFFになります)。



- 4 フロッピーデイスクタドライブのアクセスランプが消灯していることを確認して、初期導入 設定用デイスクを取り出す。

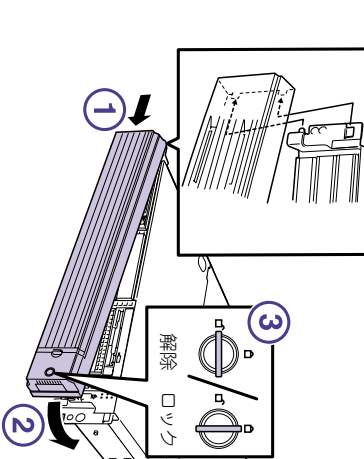
- 5 Windowsの「メモ帳」を使って、初期導入 設定用デイスク内のログファイル (logging.txt) を開く。

ログファイルに「Info: completed.」と出力されているいたらセットアップは正常に完了しています。

それ以外の出力(ログ)がある場合は、ユーザーガイドの3章「システムのセットアップ」または7章を参照してトラブルの解決を試みてください。それでも解決できない場合は保守サービス会社にお問い合わせください。

- 6 添付のフロントベゼルを取り付けてセキュリティキーでロックする。

ツメをスロットに引っかける

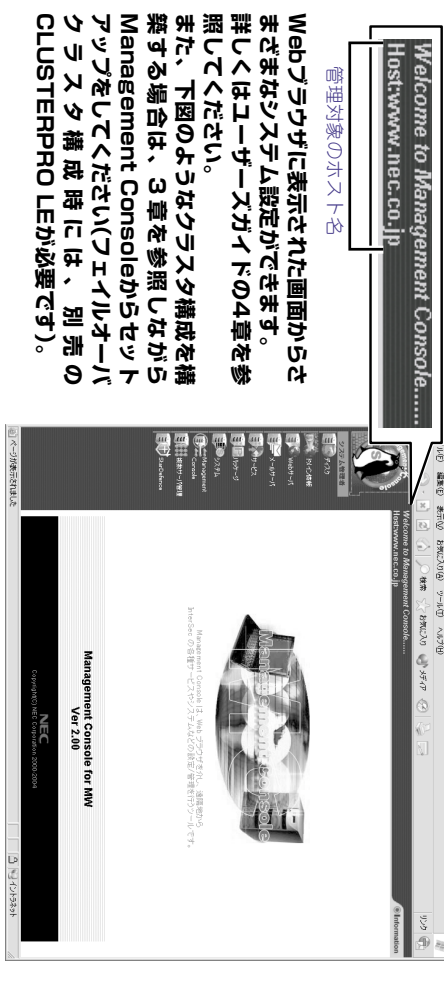


システムにログインし、各種設定をする

クライアントPCのWebブラウザからネットワークを介してシステムにログインします。詳しくはユーザーガイドの4章を参照してください。

- 1 クラウドPC上でWebブラウザを起動する。
- 2 Webブラウザの設定を確認する。
 - プロキシを経由させない
 - キャッシュ機能を使用しない
- 3 「アドレス(または場所など)」に「https://<本装置に割り当てたIPアドレスまたはFQDN>:50453/」と入力する。
- 4 「システム管理者ログイン」をクリックする。
- 5 ユーザー名に「admin」、パスワードにはセットアップ時に指定した管理者パスワードを入力する。

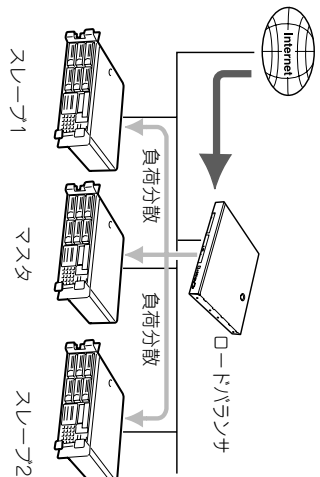
管理者用のトップページが表示されます。



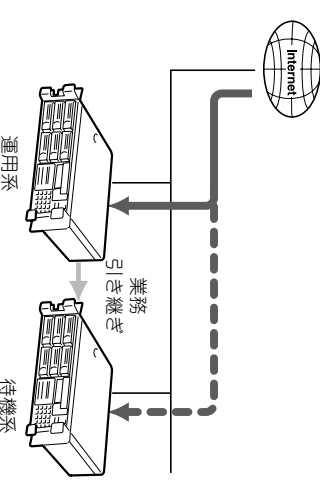
Webブラウザに表示された画面からさまざまなシステム設定ができます。詳しくはユーザーガイドの4章を参照してください。

また、下図のようなクラス構成を構築する場合は、3章を参照しながら Management Consoleからセットアップしてください(フェイルオーバークラスタ構成時には、別売の CLUSTERPRO LEが必要です)。

ロードバランスクラス構成



フェイルオーバークラス構成



ESMPRO/ServerAgentの設定をする

本体の状態を監視するソフトウェア「ESMPRO/ServerAgent」がインストール済みです。クライアントホスト、ハードディスク、本体の温度などを監視するこのソフトウェアの設定(しきい値やイベントの通報先)をします。

詳しくは、バックアップCDにあるESMPRO/ServerAgentユーザーガイドを参照してください。

<バックアップCD-ROM>:/nec/linux/esmpro.sa/doc/users.pdf

接続に使用するクライアントマシンによっては置線が文字化けすることがありますが、それぞれの機能は問題なく動作します。

管理コンピュータのセットアップをする

本装置をネットワーク上から管理・保守するソフトウェアを管理コンピュータにインストールします。ソフトウェアは、本体に添付の「EXPRESSION BUILDER (SE) CD-ROM」に含まれています。管理コンピュータのCD-ROMドライブに「EXPRESSION BUILDER (SE) CD-ROM」をセットすると表示される「インストールメニュー」からそれぞれインストールすることができます。詳しくはユーザーガイドの5章を参照してください。

【セキュリティパッチの適用について】

<http://www.express.nec.co.jp/care/index.html>に最新のセキュリティパッチがあります。定期的に参照し、適用してください。

以上で完了です。